

2024年度 線形数学演習I 期末試験 問題用紙 (片面1枚)

1 実数 a, b に対し $\max(a, b)$ を

$$\max(a, b) = \begin{cases} a & (a \geq b \text{ のとき}) \\ b & (a < b \text{ のとき}) \end{cases}$$

と定める. 正の整数 n に対して

$$S_n = \sum_{i=1}^n \sum_{j=1}^n \max(i, j)$$

とするとき, 次の間に答えよ.

- (1) S_3 を求めよ.
- (2) S_n を n の式で表せ.

2 行列 X の (i, j) 成分を $X_{i,j}$ とかく. 次の文章の空欄をうめよ.

- A を $m \times n$ 行列, B を $p \times q$ 行列とする. 積 AB は (1) のときに定義され, その型は (2) であり, (i, j) 成分は $(AB)_{i,j} =$ (3) である.
- $m \times n$ 行列 C の転置行列 tC とは, 型が (4) の行列で (i, j) 成分が $({}^tC)_{i,j} =$ (5) で定まる行列である.
- 正方行列 M は (6) を満たすとき対称行列といい, (7) を満たすとき交代行列という. また, ある自然数 k に対して (8) を満たす行列をべき零行列といい, (9) を満たす行列をべき等行列という.

3 k を実数とする. 連立方程式

$$\begin{cases} 3x - 2y + z = k \\ 2x + y - z = 1 \\ 5x - y = 6 \end{cases}$$

について, 以下の間に答えよ.

- (1) この連立方程式が解をもつように k の値を定めよ.
- (2) k を (1) で求めた値とする. この連立方程式を解け.

4 x を実数とし, 行列 A を

$$A = \begin{bmatrix} x-1 & x & x \\ x & x-1 & x \\ x & x & x-1 \end{bmatrix}$$

とする. 次の間に答えよ.

- (1) $x = 2$ のときの A の階数を求めよ.
- (2) x の値によって場合分けをして一般の x に対して A の階数を求めよ.

5 k を実数とし, 行列 A を

$$A = \begin{bmatrix} 1 & 0 & k & k \\ 0 & 1 & k & k \\ k & k & 1 & 0 \\ k & k & 0 & 1 \end{bmatrix}$$

とする. 次の間に答えよ.

- (1) $k = 2$ のときの A の行列式を求めよ.
- (2) A の行列式を k の式で表せ.

6 行列 A を

$$A = \begin{bmatrix} 3 & 2 & 1 \\ 1 & 4 & 3 \\ 3 & 3 & 3 \end{bmatrix}$$

と定める. 次の間に答えよ.

- (1) A の行列式を求めよ.
- (2) A の $(2, 2)$ 余因子を求めよ.
- (3) A の $(2, 3)$ 余因子を求めよ.
- (4) A の逆行列を求めよ.

7 行列 A, P をそれぞれ

$$A = \begin{bmatrix} 7 & -4 \\ 6 & -3 \end{bmatrix}, \quad P = \begin{bmatrix} 1 & 2 \\ 1 & 3 \end{bmatrix}$$

と定める. 次の間に答えよ.

- (1) A^2 を求めよ.
- (2) P の逆行列 P^{-1} を求めよ.
- (3) $P^{-1}AP$ を求めよ.
- (4) 正の整数 n に対して A^n を求めよ.

8 A, B を n 次正方行列とするとき, $\text{tr}(AB) = \text{tr}(BA)$ が成り立つことを示せ.

2024年度 線形数学演習I 期末試験 解答用紙 (両面1枚)

学籍番号 _____

名前 _____

1	(1)		(2)		
2	(1)		(2)		(3)
	(4)		(5)		(6)
	(7)		(8)		(9)
3	(1)		(2)		
4	(1)		(2)		
5	(1)		(2)		
6	(1)		(2)		
	(3)		(4)		

7	(1)		(2)	
	(3)		(4)	

8				
---	--	--	--	--